



主題

- クラブ (主題) “Let's become shining Y's Men!”
「輝くワイズメンになろう！」 奥田 時夫 会長
- 国際 (主題) “Be the light of the world”
「世を照らす光となろう」 Philip Mathai (インド)
- アジア (主題) “Years bring wisdom”
「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」 Oliver Wu (台湾)
- 西日本区 (主題) “Let Y's men Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」 成瀬 晃三 (名古屋)
- 中西部 (主題) “Let's nurture Y's dynamic spirit!”
「ワイズの活力を育てよう」 江見 淑子 (大阪なかのしま)

聖句

「天の国はパン種に似ている。女がこれを取って三斗の粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」
 マタイによる福音書 13章 33節

出会うカ

小島 英恵

私の家から小高い山の上にある茶山台小学校までの通学路は、毎朝20分かけてのちょっとした山登りです。当時できたてほやほやのニュータウンは、とても素敵でした。赤いアスファルトの「緑道」。木苺、ツツジ、タンポポ、しろつめ草、トカゲ、カブトムシ、ぶんぶん虫、便所虫・・・いろいろな自然と触れ合いながら歩きます。

少ししんどい通学路でしたが、所々元気なイラストとともに「あいさつできるちゃやまっこ(挨拶できる茶山っ子)」と書かれてある看板に6才の私は励まされ、なぜか、ほめられているような気がして、茶山っ子であることを誇らしげに思い、すれ違う人、毎朝お地蔵様のお世話をしてくださるおばあちゃん、お友達、先生に得意げに元気よく挨拶を交わしたものでした。

つい先日、同じ道を歩いていると、看板は、まだありましたが、上からペンキで塗り替えられていました。「しらない人についていけない」と・・・。登下校時は、黄色いベストを着た見守り隊のおじいちゃんとおばあちゃんが、挨拶をしてくれますが、返せる茶山っ子は、少ない！
 つくづくいろいろな不安があり、繋がらぬことが出来にくい世の中だなあと感じます。そんな世の中だからこそ、YMCAの活動は、大事なのでしょう。



4月 例会プログラム

日時：2013年 4月16日(火) 18:30~20:20

会場：土佐堀YMCA902号室

司会：岩田 晋メン

担当：A班(岩田、工藤、牧口)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 奥田 時夫 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | 奥田 時夫 会長 |
| 5. 入会式 | 入会者 林 真矢さん |
| 6. 食前感謝 | 奥田 時夫 会長 |
| 7. 晩餐と歓談 | — 同 |
| 8. ゲストスピーチ 日本ビルマ救援センター | 中尾恵子さん |
| 「民主化へ向かっている、ビルマの最新事情」 | |
| 9. ファンドオークション | 岡野 泰和メン |
| 10. YMCAニュース | 小島英恵連絡主事 |
| 11. インフォメーション | 岩原 義則 書記 |
| 12. 誕生日・結婚記念日 | 奥田 時夫 会長 |
| 13. ニコニコ | 司 会 者 |
| 14. YMCAの歌 | — 同 |
| 15. 閉会宣言・点鐘 | 奥田 時夫 会長 |

4月の強調テーマ 〈YMCA サービス ASF〉

今YMCAに必要とされているワイズの支援とは何か、ともに考え行動しましょう。

下村明子 Yサ・ユース事業主任(名古屋グランパス)

例会報告

永井 温子

3月

役員会報告

岩原 義則

3月の例会は久々のなかのしまクラブとの合同例会となりました。いつもの事ながら女性の多い和やかな、柔らかい雰囲気が始まりました。両クラブ合わせてゲストも交え37名の出席者で、まず春らしいしつらえの食事を会話とともに楽しみました。その後ゲストの馬場精子さんの「葉っぱのフレディ」の朗読に入っていきます。馬場さんは昨年文部科学省後援・日本朗読検定協会主催「第四回青空文庫朗読コンテスト」で金賞を受賞されました。朗読というのは文学を感情を込めて読み上げるという意味もあって、歴史的には黙読より朗読が中心であったとされているそうです。「葉っぱのフレディ」は「いのちの旅」という副題が付いているように個々の命は終わるように見えるけれど、それは大自然の設計図のなかに組み込まれ寸分の狂いもなく「いのち」を変化させつつけているという物語を詩情豊かに書かれたもので音楽と共に馬場精子さんの美しく情緒豊かな声での朗読に聴き入り充実した夕べのひとつとなりました。またこの日は馬場さんが「自分のことは普段あまりお話ししないのですが」という前置きでご自分の家庭のこと、過去の病気のこと、お嬢さんが母である馬場さんの事を書いた文などいろいろ話して下さい、親近感を覚えた夕べでもありました。(写真下段参照)

2012年度次期会長主査研修会

岩田 晋

3月9日(土)・10日(日)の二日間、新大阪のチサンホテルで次期会長・主査研修会が開かれました。このホテルは在職中によく利用した思い出の場所です。研修会なるものに参加するのは何年ぶりでしょうか。年甲斐もなく緊張感を抱いたままホテルに向かいます。二人三人とかたまって会場のホテルに吸い込まれていくのは殆どがワイズでしょう。会場に入った途端、「ワーッ、スゴイ!」。広い会場がワイズメンで埋め尽くされています。200名は超えているのでしょうか。西日本の各地から集まって来ているのですから多いのは当然と言えば当然。芥子粒みたいに小さい自分の存在に一瞬、戸惑いを感じます。中西部ワイズの顔を見て、ホッと安堵の息。そして、他地区のなつかしいワイズと再会の握手。心は少し和んで来ます。縁あっての「出会い」と「再会」。ワイズであることを実感します。土佐堀クラブの受講者は私と北村メネット。奥田会長は世話役のLD委員です。会場正面に置かれた亡き成瀬理事の遺影がワイズの面々に「しっかり研修を受けて下さい」と語りかけているようです。様々なレクチャーが続きます。二日間に亘る研修は励みになりましたが、会長の重責のプレッシャーを感じます。結局は「前向きに動くこと」が大切であるということに尽きるようです。閉講に当たって、受講者全員を奮い立たせんとする高瀬理事の熱いメッセージは感動的でもありました。この日の準備のために苦勞をされた役員や事務局の方々、研修会当日、雑事で忙しい思いをされたLD委員の皆さん、本当にありがとうございました。

日時：2013年3月19日(火) 18:30~21:00

場所：奥田事務所

出席者：奥田会長、岩田、小島(連絡主事)、小森、工藤、永井、灰谷、牧口、水口

報告事項

- 3月例会 なかのしまクラブと合同
[2013年3月13日(水) 18:30~21:00 ホテルグランピア]
出席者：メンバー12名、メネット3名、ゲスト3名、計18名
内容：ゲストスピーカー 馬場 精子さん(朗読家)
- 東日本大震災復興支援プロジェクト
[2013年2月23日(土) 11:00~15:00 いきいきセンター]
支援方法：餅つき クラブ負担：10,000円
参加者：生地、岩田、岩原、岩原(メ)、岩原(コ)、岡野、奥田、奥田(メ)、小島、北村(メ)、小森、只野、丹吾、永井、灰谷、水口 クラブ支援金1万円
中西部全体で665,842円を盛岡YMCA 宮古センターへ送る。
- 次期会長主査研修会
[3月9日~10日 新大阪チサンホテル] 岩田次期会長、北村京子次期メネット主査、奥田LD委員の3名が出席

協議事項

- 4月例会
[4月16日(火) 18:30~21:00 大阪YMCA会館902号]
担当：A班(岩田、工藤、牧口)
内容：ゲストスピーカー 日本ビルマ救援センター 中尾恵子さんを予定。民主化へ向かっている、ビルマの最新事情をお聞きます。
- 4月第2例会(役員会、ブリテン委員会)
[4月23日(火) 18:30~21:00 奥田事務所]
- 5月例会
[5月21日(火) 18:30~21:00 大阪YMCA会館902号]
担当：B班(岩原、北村、小森、岩原、水口)
内容：ゲストスピーカーCASA 専務理事早川光俊氏
- アジア大会参加者(岡野、奥田、小坂井、小森、灰谷)の確認と申込(2月中が安価)
- 西日本区大会・名古屋への参加者募る。(6/22~23)
- 韓国IBC訪問、コン区理事就任祝金を持参
- 林真矢さんの入会申し込みを承認した。4月例会にて入会式を執り行う。



3月例会風景 馬場精子さんの朗読に一同聞き入る

International

ヤングクラブチャーター！ ナイロビ・トリプルY・クラブ

国際協会事務局から毎月世界中で新しくクラブがチャーターされるごとに「New Club Announcement」が発行されています。最近ではインドや韓国からのアナウンスが多いのですが、今月はケニアのナイロビからとてもうれしいニュースが飛び込んできました。

3月23日にナイロビ・トリプルY・Yサービスクラブがチャーターされました。スポンサークラブはナイロビ・ワイズメンズクラブです。この新しいクラブは二十代、三十代の“若い”メンバーが中心でチャーターメンバーは15人です。チャーターメンバーにはアフリカ地域を代表する若いリーダーが多く、これまで国際ユースの活動を積極的に引っ張ってきた優秀なリーダーが多く在籍しています。

このクラブは多くの意味で希望に満ちています。前述のように若いメンバーだけでチャーターしたこと。これからの将来を担う若いリーダーシップが育っていること。国際的な場で活躍している人材が豊富であること。そして、多くの他の地域や区のユースにとってとても良いモデルとなる新しい形のクラブとなるでしょう。

トリプルYとはYMCAとY's Men's ClubそしてYouthの三つの頭文字を意味しています。2015年からは国際議員の15の議席数のうち2議席が30代以下の若いメンバーの代表のために確保されます。国際協会がユース支援を中心に若いメンバー獲得のために行ってきたことが少しずつ実を結び始めています。これから多くの地に“ヤング”クラブがチャーターされることを希望します。

IBC

ハワイ・ヒロクラブより

IBCのハワイヒロクラブ、ボビー (Bobby Stivers-Apiki) 会長より奥田会長あてにメールとクラブブリテンが届きました。1938年7月27日にチャーターしたヒロクラブは今年75周年を迎えます。クラブでは周年記念の行事を計画されるそうです。現在メンバー数は21名で、毎年続けてこられているクリスマスツリー販売を通じてのファンド事業は63回目だそうです。ボビー会長より土佐堀クラブのみなさんによろしくお伝えくださいとのことでした。周年記念行事の詳細が分かればまたお知らせいたします。

IBC

韓国済州三多クラブ

大田ハンバットクラブIBC訪問

5月2日より6日まで奥田会長、灰谷メン、小森メン、岩田メンが以下の日程でIBC韓国済州三多クラブと大田ハンバットクラブを訪問します。

5月2日 18時より済州三多クラブと交流

5月3日 18時より大田ハンバットクラブと交流

5月4日 10時より大田市内の牧園大学校で開催される韓国西区大会に出席。なお、同大会でハンバットクラブのユン・ジユファンが地区総裁(区理事)に就任されます。

5月5日 ソウルYMCA訪問予定。

5月6日 ソウルより関空へ帰国予定。

<アンニョン KOREA>

～韓国の石に見る日本～

岩田 晋

南山の真筆碑

数年前、韓流ドラマが日本を席捲した頃、確か「〇〇の階段」とかいう名前のドラマが韓流ファンの紅涙を絞ったことがあります。そこに出て来たのが、この南山のソウルタワーでした。一躍、観光スポットとなり、大勢の人が押しかけるようになったことは言うまでもありません。そのタワー近くまで行くケーブルカーの乗り場から南山遊歩道をしばらく行くと、うっすらと雪に覆われた広場に石碑が見えます。表面には大きな文字で「漢陽公園」とあります。この南山一帯には戦前、日本人が多く居住しましたが、今でもところどころに残る日本家屋にその痕跡を見ることが出来ます。1897年、日本公使が日本人居留民のための公園にするため、朝鮮政府と交渉し、このあたり一帯の土地が日本人に永久貸与されることになりました。道路を開き、奏楽堂・演武台・休憩所を造り、桜を600株植えました。そして、秀吉の侵略の時、武将増田長盛が陣を張ったという言い伝えに因み、「倭城台公園」と呼ぶようになりました。1908年には範囲を広げて南山西北側30万坪を無償で借り受けて公園を造営することにし、1910年5月29日に開園式が開かれ、高宗は開園式に勅使を送って祝い、「漢陽公園」の名称を送ったと言います。

当時は大韓帝国で皇帝は純宗でしたから、高宗ではなく、純宗であったという説もあります。いずれにせよ、「皇帝が勅使を送り、祝った」というのは、当時の様々な状況から見て不自然さを感じさせ、何か日本の統治策が見えてくるような気がします。碑の裏側に刻まれていた文字は全て削りとられていて、何が書かれていたのか知ることが出来ません。日本統治時代の傷跡の歴史的背景をたどり、日本と韓国の歴史観の差異がどこから来るのかを考えてみる必要があるではないでしょうか。ソウルYMCA会館玄関脇に保存されている高宗の真筆が一瞬頭をよぎりました。



大きな文字で「漢陽公園」



裏面の文字は全て削り
取られています

新入会者紹介

只野 未来 (ただの みらい)

この度、土佐堀ワイズメンズクラブに新入会しました只野未来です。今までコメントやスタッフとして関わらせていただいていたワイズに自分が入会したことが不思議な感じがしますが、たくさんの人と出会い、関わっていきることがすごく楽しみです。子どもの頃から父親がワイズのメンバーでしたので、ワイズはすごく身近な存在でした。サマーセミナーや土佐堀カーニバル、ロビーコンサート、チャリティーラン、ユースコンボケーション等・・・手伝いや応援に駆り出されたり、自分から参加を表明したり、と中には大変なこともありました。そのどれもがやりがいのあるものでした。現在、私は大阪YMCAの職員として働かせていただいておりますが、運営する側と支える側の両方の立場からYMCAをみることでこれからがすごく楽しみです。最後に、YMCAがとても大好きだった天国のお父さんに、この土佐堀ワイズメンズクラブと引き合わせてくれて、メンバーの一員になることができたことを感謝したいと思います。



丹吾 礼 (たんご あや)



みなさまはじめまして。2月に土佐堀クラブへ入会いたしました丹吾礼と申します。どうぞよろしくお願いたします。私は大学生の時に西YMCAと土佐堀YMCAでユースリーダーをし、社会人になってからは土佐堀YMCAの運営委員をしていました。その縁で土佐堀YMCAのイベントで一緒にさせていただくことも多く、土佐堀クラブには以前から興味がありました。奥田ワイズに声を掛けていただき入会、ありがとうございました。趣味は合唱で毎週練習に通い合唱コンクールや定期演奏会を目標に歌っています。ひとりひとりの力は小さいけれど、仲間と一緒に声を合わせると響き合って新たな音楽を奏でる。そんなところが魅力で中学生の頃から続けてきました。ワイズメンズクラブにも仲間と一緒に楽しみながら活動する魅力、また、海外にまで広がる大きな輪があり、その一員になりたいという思いがあります。入会してすぐにはわいわいまつりに参加しました。今までは外から見ていた活動にこれからは参加できることを嬉しく思います。まだまだわからないことが多いですが、たくさんの場に参加してワイズの活動を知っていきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

YMCAニュース

■第240回大阪YMCA早天祈祷会

日時：4月19日(金) 7:30～ 8:30
場所：大阪YMCA会館10Fチャペル

■大阪YMCA会員継続のお願い

別途、皆様に郵送させていただきました「会員登録申込書」にて継続の手続きと併せて、活動の登録を行っていただきます。担当スタッフにお渡しいただくか、FAX・メールなどでも返送いただけますので、大阪YMCA会員活動がより活発で有意義なものとなりますよう、2013年度も皆様のご理解・ご支援を何卒よろしくお願いたします。

■2013年度ボランティア養成講座

LD(学習障害)およびその周辺(高機能広汎性発達障害など)の子どもたちへの全体的な発達の支援のためのボランティア養成講座です。

日時：4月7日(日) 受付9:30～

場所：大阪YMCA会館

参加費：無料

対象：18歳以上で、ボランティアとして活動する意思のある方。電話かメールにてお申し込みください。

▽ 4月の予定

16日(火)クラブ例会(18:30～) 土佐堀 YMCA902 号室
23日(火)第二例会・役員会(18:30～) 奥田事務所
23日(火)ブリテン委員会(19:30～) 奥田事務所

▽ 5月の予定

21日(火)クラブ例会(18:30～) 土佐堀 YMCA902 号室
28日(火)第二例会・役員会(18:30～) 奥田事務所
28日(火)ブリテン委員会(19:30～) 奥田事務所

▽ 4月のお誕生日

10日 灰谷 隅夫

▽ 4月の結婚記念日

5日 灰谷 隅夫 6日 福永 勝・稔子
17日 生地 義治・絹江 24日 牧口 光・麻衣

<今月の題字写真> 菜の花 別名「花菜」(はなな)、「菜花」(なばな)、「菜種」(なたね)。菜の花が咲くころに降り続く雨の事を「菜種梅雨」と言います。
(撮影・文：奥田会長)

| 3月例会出席者数 | | 3月例会出席率 | | B | F | ニコニコ | TOS ファンド |
|----------|-----|---------|-------|------|-----|------|-----------------|
| メンバー | 12名 | 会員例会出席者 | 12名 | 切手 | 0pt | 3月分 | 0円 |
| メネット | 3名 | メーキャップ | 1名 | 現金 | 0pt | | |
| コメント | 0名 | 合計 | 13名 | | | | |
| ビジター | 20名 | 現会員数 | 20名 | | | | |
| ゲスト | 3名 | 出席率対象数 | 18名 | | | | |
| 出席者合計 | 38名 | 出席率 | 72.2% | 今期合計 | 0pt | 今期合計 | 82,156円 |
| | | | | | | | 残高合計 1,251,844円 |